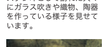
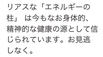
旧市街

曲がりくねった石畳の小路と鉄製の街灯、ゴシック様式の尖った塔に中世の市場、カフテーノとWi-Fi。これが街一番有名なオールドタウン。ここはタリン（別名レヴァル）がハンザ同盟の盛んなメンバーとして知られていた13世紀から16世紀にかけて栄えたころをしのばせる。隣国のララフィルス文化、切妻作りの家々、隠れた中庭や数々の教会など魅力は尽きません。ほとんどが無傷で残っている城壁や、見張り台が多数点在し、おとぎ話のような多くの魅力に包まれています。
タリンオールドタウンは1997年にユネスコ世界遺産に指定されました。
旧市街は、山のまたはトーンペアの下だという2つのエリアに分かれています。

旧市街の下町

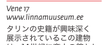


1 旧市庁舎広場 と 旧市庁舎
Raekoja plats 1
www.tallinn.ee/raekoda
ここはもともと、古くから市場や人々が集う場所でした。広場の中央にはコンパスローズをかたどった丸い石があります。そこから少し背伸びをしたりかがんだりすると、オールドタウンにある5つの全ての塔が見えます。この広場の東に位置する旧市庁舎は要塞からにより規則を作り上げてゆく何今部として1402年から1404年に建てられました。今日では出欠で唯一無傷のうえ、完全保存されたゴシックタイプ様式の市庁舎となっています。



2 旧市庁舎監獄一 地下牢
Raekoja 4/6
www.linnamuseum.ee
当時監獄として使われていたこの建物は、現在はエストニアの写真の歴史を展示しています。20世紀初頭の報道や観察的な出来ごとの数々、そして数百点ものアンティークカメラ、1930年代にエストニアで作ったエストニアのスパイカメラ「Minox」も展示されています。

3 旧市庁舎薬局
Raekoja plats 11
www.raeapteek.ee
1422年以前より営業しているこの興味深い小さな店は、旧市庁舎広場の角にあるヨーロッパで唯一、当初より休みなく営業し続けているという最も古い薬局です。中世の治療薬とされていた「錬金術」や「ユニコーンの角の粉末」の代わりに、現在は21世紀の薬が販売されています。奥の部屋にはいまだ古い道具や薬のコレクションが並べられています。

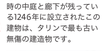


4 職人たちの中庭
Vene 6
www.hoov.ee
隠れた静かなオールドタウンの中庭はかつて名匠たちのための用地でした。現在、ここを訪れる人は手工芸品やジュエリーを購入できる話し合い、美術展を見たり、天国のように素敵なお菓子を作り上げる人気のレゴラコラカフェで一息つくこともできます。中庭のグストハウスでは昔ながらの宿泊施設も利用できます。

5 聖カトリーヌの小路
Vene 12
www.katariinagild.ee
ここは特別興味をそそるオールドタウンで、最も美しい小路から、当時からの聖カトリーヌ商業組合があり、工芸品の工房が集まっています。職人たちは今もなお伝統的な方法でガラス製品、帽子、キルト、セラミック製品、アクセサリー、手編きのウルク製品やその他数々の作品を作り販売しています。工房は15世紀から17世紀のの部屋に設置され、過ぎの南側にオープンスタジオとして訪れた人々にガラス吹き体験、胸像を作っている様子を見せています。

6 ドミニコ修道院
Müürivahe 33
www.muuritsmun.edu.ee
内部の室がセントカトリーヌ修道院を物語るこの建物は、1246年に設立されました。地下室にあるミスタリアスな「エネルギーの柱」は今もなお身体的、精神的な健康の源として信じられています。お見逃しなく。

7 ドミニコ修道院博物館
Vene 16
www.kloostri.ee
セントカトリーヌ修道院当時の中庭と廊下が残っている1246年に設立されたこの建物は、タリンで最も古い無傷の建造物です。



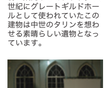
8 聖ニコライ正教会
Vene 24
1820年に建てられたこの新古典主義教会の内部にはずっしりとイコノスタス聖障が飾られ、琥珀色を宝庫と言っても良いでしょう。

9 ウリン博物館
Vene 12
www.linnamuseum.ee
タリンの史跡が興味深く展示されているこの建物は、14世紀に商人の間で使われていたものです。タリンの始まりから1991年の独立回復へとつながった「歴の革命」までの歴史がとても良く紹介されています。

10 聖霊教会
Puhavaimu 2
www.eelk.ee/tallinna.puhavaimu
これは14世紀に内部、外観共に大変な構造で建てられた教会です。正面の博巧に彩られた時計は、タリンで最も古い公共の時計です。内部の彫刻と15世紀にBernt Notkeによって描かれた見事な祭壇をお見逃しなく。

11 カレヴ マジパン ルーム
Pikk 16
www.kalev.ee
この歴史ある店は博物館とともに、大人から子供まで楽しめる場所となっています。マジパンで作られたお菓子作品をどうぞゆっくりと賞になってください。

12 エストニア歴史博物館—グレートギルドホール
Pikk 17
www.ajaloomuuseum.ee
11,000年をさかのぼり、人々がどのようにこで暮らし、戦い、生き残ってきたのか、映画と参加型の展示物で案内してくれます。15世紀にグレートギルドホールとして使われていたこの建物は中世のタリンを想起させる素晴らしい遺物となっています。



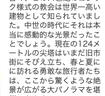
13 カヌット ギルドホール
Pikk 20
www.saal.ee
チューダー朝の外観を持つこのホールは当時、様々な貿易から脱のいい職人たちがひかえてました。古い建物ですが、正面の壁に掲げられた聖カヌットとマーチンの像は1863年から1864年にイギリスで作られたものです。今では現代劇が多く上演されています。

14 エストニア手工芸品館
Pikk 22
www.folkart.ee
エストニア中の職人たちが選んだ最大の手工芸品のコレクションです。

15 ブラックヘッド組合の館
Pikk 26
www.mustpeademaja.ee
仕組なエストランスとルネサンス様式の外観の、タリン一凝った商人達の館です。ブラックヘッドの同胞という奇妙な名前は、彼らの守護聖人ママリ・ディウスが黒人（ムーア人）だったことから付けられました。未婚ドイツ商人達からなるこの組合は、街の防衛を任されていたことでも知られています。

16 エストニア海洋博物館
Pikk 70
www.meremuuseum.ee
エストニアの海事に関する歴史を広範囲に展示しているこの建物は、当時「太っちょマルガレータ」という名の大砲塔でした。この大砲は大昔は砲撃海から攻撃より守るために1511年から1530年にかけて作られました。屋上への階段を昇ってみると、まるで絵葉書のような旧タリン港と旧市街の眺望が目の前に広がります。

17 聖オラフ教会
Lai 50
www.olevist.ee
青々、この14世紀のゴシック様式の教会は世界一高い建物として知られています。中世の時代にそれは市街に不ぞえ立ち、春と夏に訪れる勇敢な旅行者たちは、ここから驚くような絶景が広がる大パノラマを堪能できます。



18 エッビングタワー
Laboratooriumi 31
www.epringtower.info
15世紀のこのタワーは当時のタリンの要塞について、また中世の武器や盾が展示されています。

19 エストニア考古学博物館
Lai 30
www.tervishoiumuuseum.ee
学生向けのこの博物館は、健康と生理学への関心を高める展示物でいっぱいです。改装中つき休館。

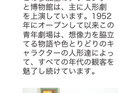
20 エストニア自然博物館
Lai 29A
www.loodusmuuseum.ee
動物の剥製、その他の展示やエストニアの中の動植物について詳しく紹介しています。

21 エストニア応用美術と工芸館
Lai 17 www.etdm.ee
ガラス製品、セラミック製品、織物、革製品、鉄細工やアクセサリーを展示しています。

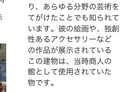
22 塔の広場
多くの塔をつなぐ城壁、絵のように美しい広場は、2009年より毎年、夏に行われるフラワーフェスティバルの開催地でもあります。

23 城壁
Väike-kloostri 9
中世の権力政治が伏したものの、野心的な隣国やその他の国々により、タリンは絶えず脅威にさらされてきました。その解決策は13世紀初頭、高く分厚い城壁、防護壁や数々の門を維持することだと気付けさました。ヨーロッパ唯一、最高の状態で温存された中世の要塞は、1.9キロに及ぶオリジナルの壁で囲まれています。いまだ堂々たる姿を見せているのはタリンの自慢でもあります。ヌンナタワー、ヘッケタワー、クルドンタワー（別名の塔）タワーを繋ぐ城壁の一部分は、一般に公開されています。

24 人形博物館 NUKU
Lai 1
www.nukuteater.ee
この参加型のタペストリー工博物館は、主に人形劇を上演しています。1952年にオープンして以来この青年劇場は、無数の生徒たちを鮮明や色とりどりのキャラクターの人形達によって、ユニークの形式の観客を魅了し続けています。

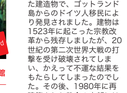


25 アダムソン エリック 美術館
Lühike jalg 3
www.adamson-eric.ee
Adamson-Eric (1902–1968) エストニアを代表する20世紀の芸術家であり、あらゆる分野の芸術をてがけたことでも知られています。彼の独創性、独創性あるアクセサリーなどの作品が展示されている この建物は、当時商人の館として使用されていた物です。



26 聖ニコラス教会
Niguliste 3
www.nigulistemuuseum.ee
1230年頃、この頃文化教会は まだ城壁が出来る前に要塞としてデザインされた建造物で、ゴットランド島からのドイツ人移民により発見されました。建物は1523年に起こった宗教改革から残存しましたが、20世紀の第二次世界大戦の打撃を受け破壊されてしまい、かなって不運な結果をもたらしてしまったのでした。その後、1980年に再建築されたこの教会の内部には教会絵画中世の祭壇が展示されています。中でも有名な画家、Bernt Notkeの作品「死の舞」を見た訪問者は、より神秘的な世界へと導かれることでしょう。

27 キーク・インデクックと 地域トンネル
Komandandi tee 2
www.linnamuseum.ee
この15世紀の巨大な建物は街の要塞とトーンペアの丘まで続いている陸トンネルについての博物館です。訪問者は中世の炎の威力や要塞、城壁、防護壁が巧妙に組まれていたことに関心を示されて きたのを詳しく見ることができます。また、一般人と共同でいっぱいに掲示物があります。高さ38メートルのタワーの名前は「ヒ所をのぞく、これは防護塔があるために高かったため兵たちが頂下に見下ろす家々の目的が優突から眺を見つめるというジャークから生まれたものです。1470年に建てられ、その後素早く4メートルにも及ぶ厚さに の壁に強化されました。事務予約制。



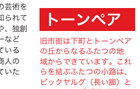
28 エストニア 演劇と音楽の博物館
Müürivahe 12
www.tmm.ee
この演劇と音楽の博物館では、たとえあなたがバッハに関心が無かったとしても、次々と好奇心が湧き出てくることと間違いありません。未完成の日曜のホルンから古風なエストニアの伝説歌、アンティークなチェンバロ、バイオリン、オルガンをしてピアノまで展示されています。19世紀の平動式ミュージックマシン、いくつかの機械の上には動き出すフィギュアものっています。それはそれは好奇心をそそることでしょう。

29 ヴィル門
ヴィル通りのふもとにある二つの塔は1世紀、実はたったなかの工門ではなく、かなり複雑な往掛けを呈した数少の門のひとつです。ここでは街のシンボルになっています。

30 ヘルマンタワー
Müürivahe 48
www.hellemann.ee
ここを訪れた際にはぜひ、この三階建ての底と壁が、ヘルマン通りの底と繋がった城壁上部にある200メートルに及ぶ歩道から中世の街並みをお楽しみください。

トーンペア

旧市街は下町とトーンペアの丘からなるふたつの地域からできています。これらを結ぶふたつの小路は、ピックヤルグ（長い脚）およびルヒケヤルグ（短い脚）と呼ばれ、「クリンのふたつの脚」として知られています。多くの訪問者はトーンペアまでどちらか一方の小路を上り、もう片方の小路を下って下町へと戻ってくるコースを辿ります。

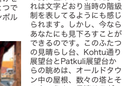


31 トーンペア城とのっぽのヘルマン塔
Lossi plats 1
www.riigikogu.ee
1227～1229年にドイツ騎士団 German Knights of the Sword がここに初めて石の要塞を建てて以降、ヴィーペア城は常にエストニアの権力の座でもあり続けました。その間、1980年に再建されたこの教会の内部には教会絵画中世の祭壇が展示されています。中でも有名な画家、Bernt Notkeの作品「死の舞」を見た訪問者は、より神秘的な世界へと導かれることでしょう。

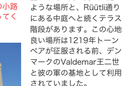
32 アレキサンダーネヴスキ大聖堂
Lossi plats 10
www.hot.ee/nsobor
オールドタウンの一角にまさに唯還いの煙に見えるこの大聖堂。何故ならば周りには中世のただずまいを持つ建造物のなか、ただひとつ、ロシアルウとともにロシア的外観、特徴ある玉ねぎ型ヘルマの教会がどっしりと腰を下ろしていらからです。それはかつてトーンペアの丘のとから町中を支配していたのでした。1900年にここに設立されました。

33 聖母マリア聖堂（トーム聖教会）
Toom-Kooli 6
www.eelk.ee/tallinna.toom
このドーム型教会はエストニアの主要なルーテル教会であり、タリンの異族たちが崇拝していたことから、現在でも内部には彼らの紋章が飾られています。1233年に設立されて以降、繰り返し再建されてきたこの教会には、様々な建築様式がミックスされています。ここを訪れる人は69mの高さにあるパイプ建築の鐘楼より素晴らしい眺めを見ることでしょう。礼拝は毎週日曜日午前11:00より、オルガン演奏は毎週土曜日12:00から12:30。

34 ふたつの展望台
音、興族たちはトーンペアの丘の上に住み下界を見下ろし、商人や職人はその下の街に住んでいました。それは文字どおり当時の階級制を表してるようにも感じられます。しかし、今ならあなたにも見てろすことができるのです。このふつの見晴らし台、Kohtu通り展望台とPatkuli展望台からの眺めは、オールドタウン中の屋根、数々の塔とその向こうまで見渡せるダイナミックなパノラマです。Kohtu通り展望台からの眺めは、新しい金融街のビル群と、それとは対照的な中世のたたずまいを持つ中間でた。もう片方のPatkuli展望台からの眺めは、聖オラフ教会とその向こうにある港、数々の塔をつなぐ長い城壁、タリンのおとぎ話の街が望めます。Patkuli展望台からジグザグの階段を下って行くと崖に面したNunne通りにたどり着きます。



35 デンマーク王の庭園
Lühike jalg 9A
トーンペアの丘の斜面、城壁と下町の間に開けた庭のような場所と、Rüütliはあるこの庭へと続くテラス階段があります。この心地良い場所は1219年トーンペアが征服される前、デンマークのValdemar王二世が建てたものです。



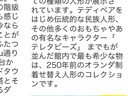
36 処女の塔
Lühike jalg 9A
www.linnamuseum.ee
当初、この処女の塔は1370年から1373年に建てられ、城壁はデンマーク王の庭園に作られました。防護壁として使用されたこの塔は、1842年から1960年までは住居として利用されました。その後入気あるカフェとなりました。現在は博物館として、またカフェとして引き続き利用されています。

カラマヤ

タリン北部に広がる木造家屋が建ち並ぶエリアはそう呼ばれています。建築と歴史の愛好家やボヘミアン味あふれる人達が集まってこの地域は新のマ後ろにあり、最初に記載されたのは1324年中世の時代。多くの漁師や魚屋、船の操縦士たちがこの地に住んでいました。Kalamaja または Fish house という名前の由来はそこからきています。当時ロシアのマンションは、あらゆる条件がそこに揃っていて、事業を作るのに適していることを認識していたのでした。今では海事海洋センターと博物館が建ち並んでいます。今日のカラマヤは広大な敷地の公園が広がるアマシュタアブルな居住地域です。新しい建物は古い建物を改装している用、流行りのポーミアンタイプのアコモデーションとして利用されています。ハーバー付近の逆歩道の始まりには、素敵なカフェやコーナーバブ、レストランなどが次々と立ち並んでいます。

37 エネルギー ディスカバリー センター
Põhja pst 29
www.energiakeskus.ee
新たに改装されたインタラクティブセンターは、ユニークな歴史ある産業地区内にあり、主に自然科学、技術科学と物理科学をテーマにしています。

38 子供博物館
Kotzebue 16
www.linnamuseum.ee
この小さな博物館は、すべての職員の人形が展示されています。デディベアをはじめ伝統的な民族人形、その他多くのおもちゃやあの有名なキャラクター「テレビビーア」まであり、並んだ館内で最も希少な物は、250年前のオランダ制表せ替え人形のコレクションです。



39 水上飛行場（Lennusadam、レンヌサダム）
Küti 17
www.seaplaneharbour.ee
国内最大規模を誇るこの海洋センターはエストニアの海事、軍事の歴史を要快に物語っています。他の多くのエキジビションの中でも、等身大の潜水艦、水上飛行機のレプリカは必見です。タリン上空を操縦するシュミレーション、黄色の潜水艦で世界中を巡るシュミレーション、タリン港を飛行するシュミレーションが体験できるこの博物館はまさに子供から冒険好な大人達でもが楽しめる、博物館天国と呼べるでしょう。屋外エリアではあのヨーロッパ最大の赤英砕氷船、Suur Tõll を含む歴史ある船のコレクションを見て回れます。現在の水上飛行場は はぼ一世紀前の1916年と1917年に「ジョ」と呼ばれる海の要塞、として建てられ、格納庫には世界初の飛行コンクリート構造物であります。チャールズ リンドバーグが1930年に世界で初めて単独大西洋横断飛行に成功したことに着陸したことでも知られています。

40 エストニア デザインハウス
Kalasadama 8
www.estoniandesignhouse.ee
デザイン会社とスタジオが併設するエストニアデザイナー協会の建物です。ショールームは地元の作品を購入するのに最適な場所となっていて、ドアのすぐ横にはカフェがありショッピングに訪れた人はいっそう有意義な時を過ごせることでしょう。

カラマヤ

41 テリリスキヴィ 創造拠点
Telliskivi 60A
www.telliskivi.ee
テリリスキヴィ 創造拠点はエストニア最大の創造的経済企業センターです。便利な立地で買い物客やレストランの常連客に人気のエリアとなりました。また、ビジネス環境の多様化と非創造的な企業選択にも一役買っています。計160席の飲食店、幼稚園、印刷店、インテリアショップ、古本屋、洋品店、フリーマーケットなどその他多くの企業が参加しています。

42 パタレイ監獄と海の要塞
Kalaranna 2
www.patarei.org
パタレイ（Battery）はソビエト時代のユニークな建築様式の建物です。1840年にニコライ皇帝の希望で建てられたこの建造物は今でも美しい石灰岩の外観だけが残されています。1919年に監獄となり、それ以降も刑務所として利用されています。パタレイ夏のみの営業。事前予約をおすすめします。

シティ 1:6 300
0 50 100 200 300 m
KALAMAJA
KELMIKÜLA
KASSISABAU
TÖNISMÄE
TOOMPEA
VANALINN OLD TOWN
SÜDALINN
MAAKRI
SIBULAKÜLA
TATARI
KALDRIMÄE
TORUPILLI
SADAMA
KOMPASSI
RAUA
Linnahall Kai
Linnahalli Quay
Kalasadam
Linnahall
Kalaturg
Kultuurikatel
Kruiisikaid Cruise Ships
Tallinna Sadam Port of Tallinna
Vanasadam
A-terminal
B-terminal
D-terminal
Admiraliteedi bassein
Norde Centrum
Merekeskus
Lennusadam
Noblessneri sadam
Kalamaja park
Patarei vangla Patarei Prison and Sea Fortress
VESILENNUKI
Suur Rannavärav
Pikk Jalg
Suur Tõll
Fat Margaret
Pikk Hermann
Hermanni torn
Kiek in de Kök
Tallinna Linnateater
Balti jaama turg
Balti jaam Railway Terminal
Rotermanni Kesklinn
Vene Kultuurikeskus
Viru Keskus
Bussiterminal Bus Terminal
Solaris Keskus
Nordea Kontserdimaja
Tallinna Kaubamaja
Stockmann
Lennuki park
Tõnismägi
Kadriorg
Kadrioru park
Kalevi Spordihoone
Kalevi Keskturg
Kesklinna park
Kalevipoeg
Kalevipoeg statue
Kalevipoeg statue
Kalevipoeg statue

以下の全てを1つの冊子にまとめてしまう方法をご存じですか？

観光旅行

聖霊教会

キーク・イン・デ・ケーク
塔

エストニア
歴史博物館

ダウンタウン
レストラン

潜水艦
レストラン

Tallinn Card ―いきたあれば、それがいできます

マーリヤマエ戦争記念碑はラスナマエ高原とタリン湾の間にあるピリタ通沿いに立っています。記念碑は、第二次世界大戦でたくさんなに貢献の意を捧げるため建立されました。

71 マーリヤマエ戦争記念碑

Pirita tee

カドリオルグからピリタまで海岸に沿って続く2キロメートルの舗装道路は1980年にオリンピックレガッタのために作られました。今日では、これはタリン市内でも最も評判が良く、美しい景色が眺められます。

70 ピリタプロメナード

マーリヤマエ宮殿は壮大なスケールのエキゾビションを持つ、エストニア共和国に捧げられた博物館です。共和国の誕生から発展、占領そして独立回復までを物語っています。博物館の中庭にはたくさんのソビエト時代祝却のモニュメントがあり、様々な視点からのアートを楽しむことができます。ここにはエストニア映画博物館が併設されてます。

69 エストニア歴史博物館 ―Maarjamäe宮殿

Narva mnt 95
www.lauluvaljak.ee

それはここで1988年に起こった、反ソビエトへの熱い想いを込めた "歌の革命" をきっかけにエストニアは独立への歩を歩み始めました。最も有名なイベントと言えば、「歌と踊りの祭典」です。エストニア中から集まる34000人もの出演者と20万人の大観衆が繰り広げるこのイベントは、5年に一度開催されます。アリーナの脇には高さ42M の灯火台があり、正面には石灰岩で出来た緩やかなスロープがあります。頂上には "合唱の父" と呼ばれたエストニアの作家、Gustav Ernesaksのブロンズ像が腰を おろしています。彼の数々の功績はエストニア国民のアイデンティティーの一部とみなされてます。そしてぜひ体験していただきたいのが、まるで近くで歌っているかのように聴こえるステージ内の "シンギングベンチ" です。また、歌の祭典地にはコンクリートで作られた「Cromatico」があり、音階を視覚的に表現している興味深い建物となっています。

68 歌の祭典地

Kloostrimetsa tee 36
www.kalmistud.ee

この森の墓地は1933年に作られたエストニアで最も有名な お墓です。エストニア中の著名人たちがここに安らかに眠っています。

67 墓地

Kloostrimetsa tee 58A
www.teletorn.ee

1980年にこの画期的なタワーが建てられ、今日でも訪問者に高い眺望を約束します。塔内には成功を収め遂げたエストニア人の展示物があり、訪問者はテレビスタジオでビデオメッセージを収録し、世界各地に送信できるという点も楽しみのひとつです。地上170メートルにあるレストランでは上品なメニューと共にエンターテイメントを提供します。ピリタに位置する高さ314メートルのテレビ塔はこの国一番高い建物です。天候に恵まれたあとは少しのマジネーションで海の向こうのフィンランドが見渡せるかもしれません。

66 ピリタアドベンチャーパーク

www.piritaseikluspark.ee

高い松の木と砂浜の組み合わせが作り出すアドベンチャーパークは、6つの異なったスリル満点のアスレチックコースです。思い切り楽しみたい訪問者には最高の遊び場です。

65 クリンテレビ塔

Kloostrimetsa tee 9
www.piritakloster.ee

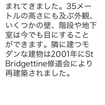
ピリタ川のふもと、林の上に高くそびえ立つミステリアスな三角の塔は、聖ブリジット修道院の遺跡です。1407年から16世紀後半、リボニア戦争によって破壊されるまでこの地で営まれてきました。35メートルの高さにも及ぶ外観、いくつかの壁、階段や地下室はやっても目にすることができます。隣に建つモダンな建物は2001年にSt Bridgettine修道会により再建築されました。

64 聖ブリジット修道院の遺跡

Kloostrimetsa tee 52
www.botaanikaaed.ee

この植物園は広大な庭とモダンな温室があり、クリンで花々の香りに包まれるには最高の場所です。夏にバラ園を散歩するのはもちろん、緑豊かな温室は一年を通して人気のスポットです。

63 植物園



ピリタ

2キロに伸びる砂浜とヨットハーバー。夏の中心地として人々が集まる人気の地域です。また、静けさを楽しむには、道路を渡りピリタ川の三角州の方に向かうと、手こぎボートやカヤー、ペダルボートのレンタルも有ります。

1:34 000
0 250 500 1 000 m
Stockholm 380 km
St Petersburg 320 km
Helsinki 80 km
Helsinki 80 km
Helsinki 80 km
Tallinna laht
Paljassoare laht
Kopli laht
Pikakari
Katariina kai
PALJASSAARE
Paljassaare poolsaar
Paljassaare sadam
Vene-Balti sadam
Kopli
KOPLI
Mustamäe tee
Kopli tee
Meeruse tee
Dekkeri sadam
KARJAMAA
Lume
Karjamaa
Minsiadam
Noblessneri sadam
Lennusadam
Hundipea sadam
Lahtse sadam
SITSI
Sitsi tee
Paldiski mnt
PÕHJA-TALLINN
KALAMAJA
Kalamaja tee
Pelguranna tee
PELGURANNA
Puhkaru
Supelranna
Pelguranna
Pelgulinna tee
PELGULINNA
Kelmikülä tee
KELMIKÜLA
Tõnismägi tee
TÕNISMÄGI
Tõnismägi
Kaarli puiestee
Toompea tee
Lühike jalg
Lühike jalg tee
Toompea
Lossi plats
Pikk jalg
Pikk jalg tee
Rüütli tee
Kiek in de Kök
Kiek in de Kök tee
Suur-Kloostri tee
Suur-Kloostri
Kloostri tee
Tõnismäe tee
Tõnismäe
Vabaduse väljak
Vabaduse puiestee
Vabaduse
Harju tee
Harju
Harju mnt
Ahtri
Ahtri tee
Ahtri-Kai
Linnahalli Kai
Linnahalli Quay
Vanasadam
A-terminal
B-terminal
D-terminal
Tallinna Sadam
Port of Tallinn
Kruiisilaivad
Cruise Ships
Sadama
SADAMA
Nafta
Kadriorg
Kadriori park
Kadriori park tee
Kadriori tee
Narva mnt
Narva mnt tee
Narva tee
Narva
Narvamäe tee
Narvamäe
Lasnamäe tee
Lasnamäe
Laagna tee
Laagna
Punane tee
Punane
Punane mnt
Peterburi tee
Peterburi
Peterburi mnt
Paldiski mnt
Paldiski
Paldiski tee
Pirita tee
Pirita
Pirita sadam
Pirita Kloostri varemed
St Brigid's Convent
Metsavahi tee
Metsavahi
Kloostrimetsa tee
Kloostrimetsa
Botaanikaaed
Botanical Garden
Kose tee
Kose
Kõrgõsu tee
Kõrgõsu
Kõrgõsu mnt
Kõrgõsu